令和２年度　第１回中津川市立図書館協議会　議事録(要約)

令和３年１月１４日　　15：30～

図書館　中央公民館ホール

**「中津川市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき公開した。**

* 傍聴人０名

出席者（15名）

■委　員（8名）

近藤 信幸、桑澤 芳江、竹入康治、荻山由子、松木詠史、

松原 槇子、田中孝一、小倉尚美、

■事務局（4名）

文化スポーツ部次長 松井嘉之、

図書館長 小池孝子、係長 原美佐子、主任 山内瑞稀(記録)

■説明員(2名)

　　まちづくり推進室室長　草野順樹、主任 吉田真唯子

**１　開　会**

**２　あいさつ**

　　**協議会長**

年明けには岐阜県も緊急事態宣言がでている。気を付けながら会議をおこないたい。

図書館には市民交流プラザについても話をしてもらいたい。

**文化スポーツ部次長**

第二回ということで交流プラザについて広く意見を集めたいが、コロナの関係で難しい。後ほど説明するが、現在パブリックコメントを集めている。

週に33人のコロナ感染者が発生していたが、対策の結果、日に1人程度になっている。1/9から図書館も開館できる予定となっていたが残念。これからはコロナと共に、利用者自身も感染対策をおこないながらやっていく必要がある。公民館は8時までの開館で、新規の予約は2/7までは受け付けない予定。教育活動のためにも、すべては止めずにやっていきたい。皆さんマスクをしてもらっているが続けていってもらいたい。私たち自身が人にうつさず人からもらわない体制でいきたい。本日皆さんにはご意見を沢山いただきたい。

**３　報告事項**

**報告１　中津川市立図書館における今年度の事業経過について**

小池図書館長：(資料説明)

会長：なにか意見あればおねがいします。

委員：コロナの中、図書館が開館するのはありがたい。コロナと共にということで、図書館側でも新しいやり方を考えていってもらいたい。新刊の案内は図書館内での紹介が主なため、もっとネットを使わない世代に向けて、皆に分かりやすく宣伝してもらいたい。

小池図書館長：いま新しい本の紹介は広報で数冊と、新しい本の一覧を冊子にして館内で配布している。そのため、館内でしか手に取ってもらえない。

委員：あまり電子化を進めてしまうと高齢者は取り残されてしまう。難しいとは思うが考えてもらいたい。

小池図書館長：図書館だよりは回覧でまわしてもらっている。

委員：イベント等もあまり知らない人が多い。発信に工夫をしてもらいたい

会長：読み聞かせもあまりできなくなっている。動画にしたり、配信したりできれば、地方の公民館でも自宅でも利用ができる。広く情報を集めて実践してもらいたい。

委員：返却本の消毒はどうなっているか。

小池図書館長：秋までは表面を専用クリーナーで拭いて、一日棚に戻さず置いてから戻していた。その後専門家の調査結果などを調べた結果、紙から媒介して感染することはほぼないということだったので、現在は一日置くだけ。県内の図書館はほとんどがこの対応。

委員：恵那は除菌機を導入したようだがどうか。

小池図書館長：中津川にもあるがサイズが小さいため、希望する利用者が個別で利用できるようにしている。

会長：主だったイベントが開催できなかったこともあるが、できる範囲でイベント等の開催もおこなわれたようだ。

**報告２ （仮称）市民交流プラザについて　（資料１）**

草野まちづくり推進室室長(以下草野室長)：今後実施設計に入っていく。コロナの関係もあり、意見交流があまりできなかったが、各団体に個別で話をきいたり、出前講座をおこなったりと、できる限り市民の意見を求めている。パブリックコメントも募集をおこなった。

(資料説明)

会長：皆さん目を通してもらって、意見をいただきたい。

委員：学習室の座席数は最大何席か。3階に閉架書庫があるが、蔵書計画はどうなっているか。

草野室長：キャレル席が26席、その他活動室が60席となっていた。コロナのため40席ほどになるかもしれない。蔵書は現在17万冊、うち書庫は8万冊。新聞等の保管スペースが現在は多いが今後は減らしていく。最終的に蔵書数23万冊をめざして受け入れをしていく予定。

副会長：ボランティア室として使える部屋はあるか。

草野室長：2階の活動室9は団体等が修繕などにつかえる部屋としている。もうすこし大規模な活動は活動室5,6で。活動室6では水道を設置し、花ボランティア活動ができる。

副会長：活動室9は何人くらい使用できるか。理想としては団体同士が同じ部屋で活動できるようにしていきたい。

草野室長：そういった場合には活動室5.6で、60人ほどが利用できる。

副会長：活動において、道具を置く物置のような場所が必要。

草野室長：活動室9の奥に棚を設置するほか、一階に様々なイベントに対応できる倉庫を設置する予定。様々な団体に利用してもらうため、個別の倉庫等は作らない。

委員：活動室5.6の間はパーテーションか何かで区切るのか。

草野室長：分けても大きな部屋としても使えるようにする予定。

委員：学習室と活動室6の間は壁なのか。

草野室長：そうです。

委員：二階のテラスは出入りできるのか。

委員：受験生は静かに勉強できるのが一番。賑わしくなるのは避けてほしい。

草野室長：一階のテラスにはエントランスから出入りができるようになる予定。

会長：一階活動室1の壁について、多目的室の壁を外せるようにするなら、活動室を奥側に設置してはどうか。

草野室長：多目的室はステージとラウンジと一体ということで、隣接して設計されている。

会長：入ってすぐに活動室があるのは少し違和感がある。活動室2,3,4はこれまで市の施設としてはあまりなかったので良いと思う。

草野室長：ミニシアターのように、映像が映せる設備としても利用できるよう想定している。

会長：配本作業等については図書館で細かい部分の検討が進められているのか。

草野室長：図書館内で効率的につかえるよう、配置の検討をおこなってもらっている。エレベーターは作業スペースに設置し、直通で書庫までいける。

会長：3階閉架書庫について、前回も数年で蔵書量が上回る想定だった。児童コーナーを減らしてでも収容量を増やすべきではないか。

草野室長：西側につくるなど検討を進めたが、閉架書庫の荷重は建物に対して重いため、一辺に集中して作ると年月とともに建物が歪みやすくなる。

会長：天井の高さについてはどうか。1階ラウンジが低いのではないか。

草野室長：傾斜があるため。1階の高さを上げると2階の床が上がってしまう。技術的なものも駆使し、天井の高さを上げられるようにしていきたい。

会長：工夫をこらして1㎝でも天井を高くしてもらいたい。

副会長：歴史的な資料について、図書館で保管するのか、それとも違う場所か。

草野室長：歴史資料館が市内にあるので、専用設備があるところでの保管となる。

委員：資料をすべて目録化し、どこに何があるのか、どこでも照会できるようにならないか。

松井文化スポーツ部次長：歴史的なものについては資料目録を作成し、データ化を含め、誰でも利用できる形をとりたいと思っているが、現在倉庫等が足りていない。

会長：図書館には歴史資料のデータ化などもしていってもらいたい。予算等もあるので考えなければならないが、今でも少しアーカイブされたものがインターネットで閲覧できる。郷土資料について図書館もなにかあれば。

小池図書館長：現在5000冊が永年保存の資料として郷土資料になっている。新館では1万冊を郷土資料として収蔵できるように予定している。現在は市史編纂室の資料を図書館で目録として登録し、レファレンスできるようにしている。今後も市内の資料の目録化をしていきたい。

副会長：活動室について、利用予約管理等はどうなっているか。

草野室長：図書館だけでなく子育て等も利用できるようにしていくために、管理体制を検討している。

松井文化スポーツ部次長：管理体制については専門的な意見を求めつつ、現在のコロナの対策も含めた体制を整えていく必要がある。

副会長：誰が管理しているのか複雑だと困る。図書館で主に活動しているため、できるかぎり図書館に管理してもらいたい。コロナのため、設計の人や色々な人に話を聞きたかったができなかった。難しいと思うが意見交流会をしてもらいたい。

草野室長：管理する人のほかに、企画していく人も必要なので検討をすすめたい。

委員：地下に倉庫を作ることはできないのか。

草野室長：すでに地下には杭があるのと、湿気の関係で難しい。

会長：難しいと思うが、意見を聞く機会を多くもってほしい。

**４　その他**

**５　閉　会**